

# マイクロタブレット取扱説明書

品番: TBL-32USBN



最初に  
ご確認  
ください。

セ  
ッ  
ト  
内  
容

タブレット本体 .....	1台
スタイラスペン .....	1本
交換用ペンチップ .....	2本
ドライバソフト(CD-ROM).....	1枚
乾電池 (AAAAタイプ)(テスト用) .....	1本
取扱説明書 兼 保証書(本書).....	1部

万一、足りないものがございましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。本書に記載の社名及び製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

サンワサプライ株式会社

## 目次

ページ	
2	取り扱い上のご注意
4	はじめに
4	タブレットについて
5	動作環境
6	ハードウェアのセットアップ
6	Windowsへのタブレットインストール
6	・ WindowsXPにインストールする
7	・ Windows2000にインストールする
9	・ WindowsMeにインストールする
10	・ Windows98SE/98にインストールする
11	・ Windowsでペンとタブレットをカスタマイズする
12	Macへのタブレットインストール
13	・ Macで電子消しゴムボタン機能を使う
13	・ Macでペンとタブレットをカスタマイズする
14	タブレットの設定 (Windows)
14	・ ボタンの機能設定
15	・ ペン先の感度設定
16	・ ペン先の筆圧設定
17	・ ポインタ移動方法...絶対モードと相対モード
17	・ 動作領域
19	ドライバソフトのアンインストール (Windows)
20	タブレットの設定 (Mac OS)
21	・ ペン先の筆圧感度設定
22	・ 動作領域
23	ドライバソフトのアンインストール (Mac OS)
24	ペンのメンテナンス
24	ペンとタブレットのお手入れ
25	トラブルシューティング
25	・ 総合的なトラブル
26	・ Windowsでのトラブル
27	・ Macintoshでのトラブル

## ⚠ 取り扱い上のご注意



タブレットの上に熱いもの、または重いものを置かないでください。



タブレットの上にフロッピーディスクなどを置かないでください。  
フロッピーディスク内部のデータが消えるおそれがあります。



タブレットの上に金属など導電性のあるものを置かないでください。



タブレットの入力面（アクティブエリア）を傷つけないでください。



タブレット本体を絶対水に浸けないでください。



タブレット本体を絶対落とさないようにしてください。

本製品は電気で動作しておりますので、発火する危険があります。万一、煙が出たり変なにおいがしたりした場合は、本製品及び接続しているコンピュータや機器の電源を切り、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。

雷が鳴っているときに、本製品やケーブルに触れないでください。

落雷により感電する恐れがあります。

本製品のカバーを開けたり、分解したりしないでください。

故障や感電の原因となることがあります。

濡れた手で本製品やケーブルに触らないでください。

本製品がパソコンに接続されているときには、感電する恐れがあります。

本製品内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。

感電や火災、故障の原因となることがあります。

本製品に強い振動や衝撃を与えないでください。

故障・破損などの原因となることがあります。

本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、ほこりや油煙などの多い場所、車中や暖房器具のそばなどの高温となる場所に設置したり、保管したりしないでください。

故障・感電などの原因となることがあります。

本製品を重ねて設置したり、本製品の上に重いものを置いたりしないでください。

火災や故障の原因となることがあります。

本製品は不安定な場所に設置したり、保管したりしないでください。

落下により故障・破損の原因となることがあります。

本製品のケーブルを抜き差しする時には、必ずコネクタ部分を持ち無理な力を加えないでください。

故障・破損などの原因となることがあります。

本製品のケーブル、接続する機器のケーブルは、家具で踏んだり、扉ではさんだりしないでください。また、これらのケーブルを引っ張ったり折り曲げたりしないでください。

火災や故障の原因となることがあります。

本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失についての保証はしかねます。

定期的にバックアップを取るなどの対策をあらかじめ行ってください。

本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。

塗装を傷めたり、故障の原因となることがあります。乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。

本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。

## はじめに

普通のマウスでは、フリーハンドでの絵が書きにくい。画面上でカーソルを探しながらの作業は面倒だ。...そう思ったことはありませんか。このタブレットとスタイラスペンがあれば、カーソルの位置を確認せずに、フリーハンドのスケッチやサイン、さらに写真や絵のトレースまでもが簡単に行えます。つまりこのタブレットは、マウスよりもさらに高度な機能を持ったポインティングデバイスなのです。

ペン先は1024段階の筆圧検知が可能で、自然な書きごこちです。タブレットの上面から約6mmの高さまでの間で、フリーハンドで絵を書くことができるので、下絵をタブレットの上に置いてトレースすることも可能です。スタイラスペンに付いている3つのボタンは、それぞれに異なったマウスボタンの機能を設定することができます。さらに、このタブレットと同時に、マウスやトラックボールを使うこともできます。

またこのタブレット 筆圧検知に対応しているグラフィックソフトのドローイングツールはたくさんあります。これらのツールを使ってペンの圧力を自在に使い分けることで、線の太さや濃さを変える、色をブレンドすることも簡単にできるのです。

## タブレットについて

### ポインティングデバイス<sup>1</sup>

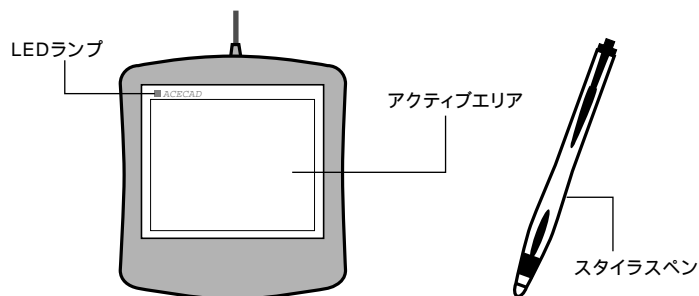
このタブレットには、ポインティングデバイスとしてスタイラスペンが付属しています。

### 3ボタン方式スタイラスペン

このスタイラスペンはとても軽く、普段から使い慣れているペンや鉛筆と同じような感覚でご使用になれます。軽くペン先を押すだけで入力できますので、自由に字や絵を描くことが可能です。さらに、ペンにはクリックやダブルクリックなどの働きをするためのボタンが3つ付いており、これらの設定も任意に変更することができます。

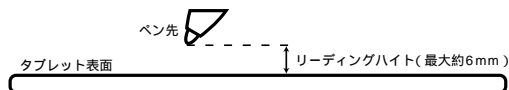
### アクティブエリア(読み取り可能範囲)

アクティブエリアとは、スタイラスペンがタブレット上で反応する長方形(3"×2.25")の範囲のことをいいます。



### リーディングハイト(読み取り可能高)

リーディングハイトとは、タブレット表面とペン先の最長距離のことを指します。スタイラスペンならば6mmまで有効です。直接タブレット画面に触れなくても良いので、地図やイラストなどをトレースできます。非導電性のものであれば何でもタブレット表面にのせることが可能ですが、タブレットとペンの間に導電体をのせると、タブレットが使用不可能になることがあります。



注意：金属など、導電性のものをのせないでください。正常に入力できなかつたり、故障の原因になります。

### ポインタ移動方法

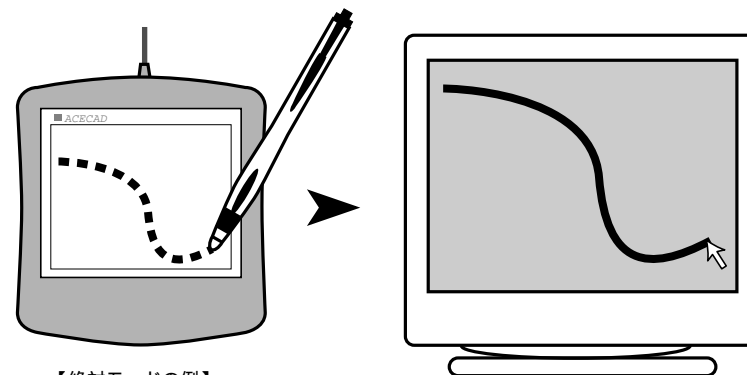
タブレット上でペンを動かしたとき、それに対応して画面上のカーソル<sup>2</sup>が動きますが、そのポインタ移動方法は、絶対モードと相対モードの2種類があります。

#### 【絶対モード】

タブレット上のペンの位置と画面上のカーソルの位置が一致します。例えば、ペンを左上に置くと、画面上のカーソルも同じく左上に現れます。これにより、画面上のカーソルの位置を確かめる手間が省け、効率よく作業を行えます。

#### 【相対モード】

通常のマウスやトラックボールと同じように動作します。



【絶対モードの例】

#### 1 ポインティングデバイス

画面上の座標位置を入力するためのハードウェア。マウス、トラックボール、ライトペンなど。

#### 2 カーソル

マウスの位置や状態を画面上に表示するマーク。矢印の形が多く、矢の先端がクリックしたときの位置になる。処理に時間がかかるときは、砂時計マークなどに化する。

## 動作環境

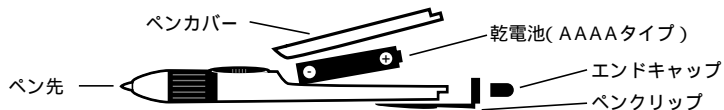
各社DOS/Vパソコン、NEC PC-98NXシリーズ、Apple iMac・iBook・Power Mac G3/G4・PowerBook G3/G4 シリーズ。  
USBポート(USBシリーズAコネクタメス)を持つ機種。  
ドライバソフトのインストール用に、CD-ROMドライブが必要です。

OS：日本語 Microsoft® Windows® XP・2000・ME・98SE・98  
Mac OS 9.2・9.1・9.0・8.6

## ハードウェアのセットアップ

### ① ペンの準備

1. エンドキャップを回して緩め、エンドキャップとペンクリップを取り外してください。
2. ペンカバーをスライドさせて取り外し、乾電池のマイナス側⊖をペン先に向けて差し込みます。
3. ペンカバー、ペンクリップを元に戻し、エンドキャップを締めて固定させてください。



## Windowsへのタブレットインストール

注意：既にインストールされたタブレットドライバがある場合、インストールする前に、Windows内の全てのタブレットドライバを取り除いてください。

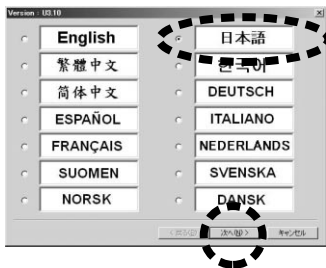
注意：Windows98へのインストールに際してはWindows98のCD-ROMが必要な場合がありますので、あらかじめお手元にご用意ください。

### WindowsXPにインストールする

1. コンピュータの電源を入れ、Windowsを起動させてください。
2. タブレットのUSBコネクタを、コンピュータのUSBポートに差し込んでください。
3. 画面右下に新しいハードウェアのインストール中のメッセージが現れ、自動的に「USBヒューマンインターフェイスデバイス」として認識されると、タブレット左上のLEDランプが赤く点灯します。(これだけではタブレットは動作しません。)
4. タブレットのCD-ROMをCD-ROMドライブに入れてください。自動的にドライバのセットアップ画面が起動します。(もし、この画面が起動しない場合にはCD-ROMの中の「Setup.exe」を実行してください)



5. 「日本語」をクリックしてチェックマークを付け、「次へ」をクリックしてください。

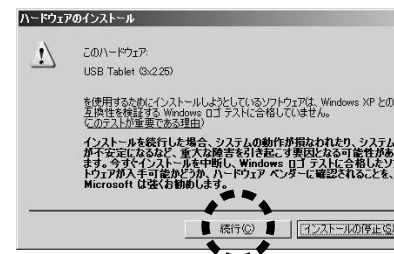


6

6. 次の画面になりますので「完了」をクリックしてください。



7. 「このハードウェア・・・」の画面になりますので、「続行」をクリックしてください。



8. 必要なファイルがコピーされ、やがて以下の画面が表示されます。「OK」をクリックしてください。



9. 以上でタブレットのインストールは完了します。

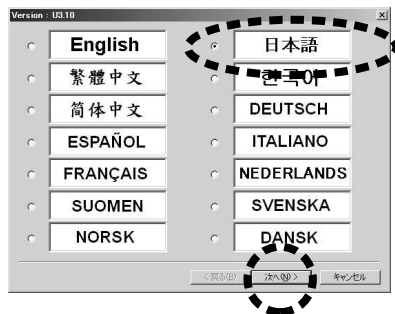
### Windows2000にインストールする

1. コンピュータの電源を入れ、Windowsを起動させてください。
2. タブレットのUSBコネクタを、コンピュータのUSBポートに差し込んでください。
3. タブレット左上のLEDランプが赤く点灯します。
4. タブレットのCD-ROMをCD-ROMドライブに入れてください。自動的にドライバのセットアップ画面が起動します。(もし、この画面が起動しない場合にはCD-ROMの中の「Setup.exe」を実行してください)



7

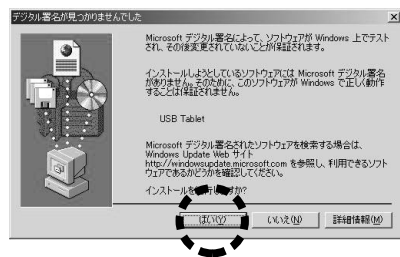
5. 「日本語」をクリックしてチェックマークを付け、「次へ」をクリックしてください。



6. 次の画面になりますので「完了」をクリックしてください。



7. 「デジタル署名が・・・」の画面になりますので、「はい」をクリックしてください。



8. 必要なファイルがコピーされ、やがて以下の画面が表示されます。「OK」をクリックしてください。



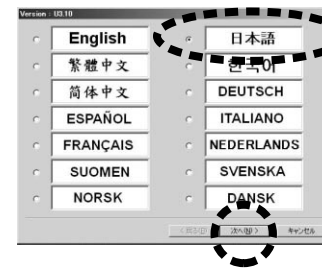
9. 以上でタブレットのインストールは完了します。

## WindowsMeにインストールする

1. コンピュータの電源を入れ、Windowsを起動させてください。
2. タブレットのUSBコネクタを、コンピュータのUSBポートに差し込んでください。
3. タブレット左上のLEDランプが赤く点灯し、画面に新しいハードウェアのウィザードが表示され、タブレットが自動的に「USBヒューマンインターフェースデバイス」としてまず認識されます。（これだけではタブレットは動作しません。）
4. タブレットのCD-ROMをCD-ROMドライブに入れてください。自動的にドライバのセットアップ画面が起動します。（もし、この画面が起動しない場合にはCD-ROMの中の「Setup.exe」を実行してください）



5. 「日本語」をクリックしてチェックマークを付け、「次へ」をクリックしてください。



6. 次の画面になりますので「完了」をクリックしてください。



7. 必要なファイルがコピーされ、やがて以下の画面が表示されます。「OK」をクリックしてください。



8. 以上でタブレットのインストールは完了します。

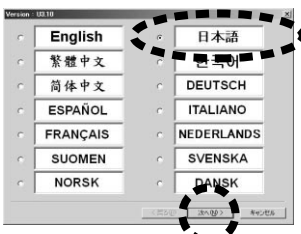
## Windows98SE/98にインストールする

注意：Windows98へのインストールに際してはWindows98のCD-ROMが必要な場合がありますので、あらかじめお手元にご用意ください。

1. コンピュータの電源を入れ、Windowsを起動させてください。
2. タブレットのUSBコネクタを、コンピュータのUSBポートに差し込んでください。
  - a. タブレット左上のLEDランプが赤く点灯し、「USBヒューマンインターフェースデバイス」のインストールが終了したら4.に進んでください。
  - b. LEDが点灯しない場合、新しいドライバを探している旨のダイアログが表示されますので、「次へ」をクリックしてください。検索方法を選択する画面が表示されたら、「次へ」をクリックしてください。
3. WindowsのCD-ROMをCD-ROMドライブに入れ、CD-ROMドライブを選択してください。以下、いくつかダイアログが表示されますが、「次へ」をクリックして進んで、このダイアログを終了させてください。
4. タブレットのCD-ROMをCD-ROMドライブに入れてください。自動的にドライバのセットアップ画面が起動します。（もし、この画面が起動しない場合にはCD-ROMの中の「Setup.exe」を実行してください）



5. 「日本語」をクリックしてチェックマークを付け、「次へ」をクリックしてください。



6. 次の画面になりますので「完了」をクリックしてください。



7. 必要なファイルがコピーされ、やがて以下の画面が表示されます。「OK」をクリックしてください。



8. 以上でタブレットのインストールは完了します。

ペンのボタンは初期設定で以下のようになっています。

ペン先：マウスの左クリック

ペン下ボタン：マウスの右クリック

ペン上ボタン：マウスの左ダブルクリック

メモ ペンは、電池で作動します。3分間放置すると、節約のため自動的に電源が切れます。ペン先でどこかをクリックすると、再び電源が入って使用可能になります。なお、ペンをタブレットの読み取り範囲内に置いた状態で、ペンの電源が入っているとタブレットのLEDが緑に、電源が切れていると赤に点灯します。

## Windowsでペンとタブレットをカスタマイズする

コントロールパネルの中のタブレットアイコンを開きます。タブレットのダイアログボックスが表示され、以下の設定を変更することができます。

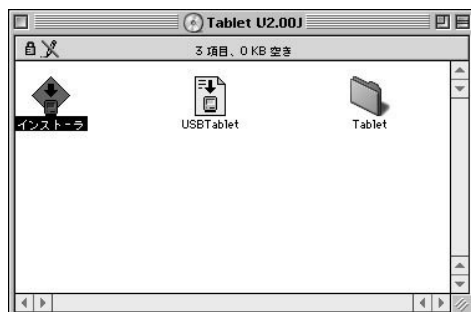
ボタン - ペンのボタン機能を設定するには、ボタントabをクリックしてください。ボタンの種類と動作のリストボックスから、ボタン機能をマウス左クリック、マウス右ダブルクリック、マウス右クリック、補助ドラッグ...など設定することができます。

感度 - ペン先でダブルクリックしやすくするには、感度tabをクリックします。ダブルクリックのスピードと間隔(範囲)のスライドを調整できます。スピードを遅くしたり、間隔を大きく設定すると、ダブルクリックがより簡単になります。

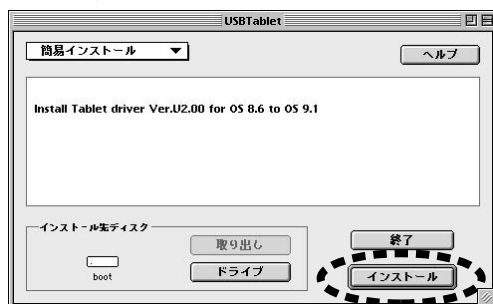
筆圧 - 筆圧tabをクリックしてください。ペン先でクリックする際に必要な圧力を調整したり、圧力に影響されないラインなどを描くには、クリックのスライドを軽くまたは重くの方に引いてください(軽く設定推奨)。筆圧(ライン幅など)を調整するには、筆圧のスライドを硬くまたは柔らかくの方に引いてください(柔らかく設定推奨)。アプリケーションソフトの中には、より軽いクリック感度や柔らかい筆圧感度設定を行うと、ペンの反応が激しすぎる場合があります。このような場合は、より重いクリック感度設定か、硬い筆圧感度設定をご使用ください。

## Macへのタブレットインストール

1. Macintoshの電源を入れてください。
2. タブレットのUSBコネクタをUSBポートに差し込んでください。タブレット上のLEDが点灯します。LEDが点灯しない場合は、このUSBポートが使用できない可能性があります。  
注意！タブレットドライバをインストールする前に、ペンはマウスと同様の役割を果たすことができますが、筆圧感度が作動しません。
3. タブレットのCD-ROMをCD-ROMドライブに入れてください。タブレットCDが自動的に起動しない場合は、Tablet U2.00Jのアイコンをクリックしてください。
4. タブレットCDのウィンドウから、「インストーラ」のアイコンをダブルクリックしてください。ウェルカムダイアログボックスが表示されます。「続ける」を押してください。



5. タブレットインストールのウィンドウが表示されます。「簡易インストール」を選択し、インストールをクリックしてください。次のダイアログボックスで、続けるを押してください。終了したら、再起動を押してMacintoshを再起動してください。



6. どこかをクリックすると、ペンの電源が入ります。これで、タブレット上でマウスを使用するようにペンを動かす、画面上のカーソルを移動させることができます。筆圧感度機能も使用することができます。ペンの初期設定は以下の通りです：ペン先 - クリック、ペン下ボタン - ダブルクリック、ペン上ボタン - 消しゴム。

メモ ペンは、電池で作動します。3分間放置すると、節約のため自動的に電源が切れます。ペン先でどこかをクリックすると、再び電源が入って使用可能になります。なお、ペンをタブレットの読み取り範囲内に置いた状態で、ペンの電源が入っているとタブレットのLEDが緑に、電源が切れていると赤に点灯します。

Macで電子消しゴムボタン機能を使う

このペンには電子消しゴム機能が搭載されています。デフォルト設定ではペン上ボタンが消しゴム機能となっています。タブレットのコントロールパネルで、消しゴムボタンを他のボタンに設定しなおすことができます。消しゴムボタンは、使用するアプリケーションがこの機能に対応している場合のみ、お使いになれます。ペンの消しゴムボタンに設定されているボタンを押すと、アプリケーション中の消しゴムツールが自動的に選択されるので、消しゴムツールを手動で選択せずに描いたものを消すことができます。消しゴムボタンを放すと、アプリケーション中では自動的に消しゴムツールから、消しゴムツールを選択する前のツール(例えば鉛筆ツールなど)に切り替えられます。この消しゴムボタン機能は、消しゴムツールと鉛筆ツールなどの切り替えをより素早く行うためにデザインされたものです。

Macでペンとタブレットをカスタマイズする

コントロールパネルからUSB Tabletのアイコンを選択すると、タブレットのコントロールパネルが表示されます。このタブレットコントロールパネルを使い、以下の設定を自由に変更することができます。

ボタンの設定 - ペンのボタン機能を設定するには、タブレットのコントロールパネルの機能ポップアップメニューから、ボタン設定アイテムをクリックしてください。ボタン設定のダイアログボックスが表示されます。ボタンのポップアップメニューから、ボタン機能を設定することができます。クリック、ダブルクリック、消しゴム、無効、修飾子定義、キーストロークなどのボタン機能を設定することができます。修飾子定義ボタン機能とは、キーボードの修正キー(コマンド、オプション、コントロール、シフト)を押しながら他のキーとのコンビネーションで作動する機能に似ており、クリックなども可能です。キーストロークボタン機能とは、コマンド-3(コピー)、コマンド-4、TEST等の役割を果たします。

ペン先感度設定 - タブレットのコントロールパネル内の機能ポップアップメニューから、ペン先の感度アイテムをクリックしてください。クリック感度設定のダイアログボックスが表示されます。

ペン先でダブルクリックをしやすくするには、ダブルクリックのスライドを速くまたは遅くの方に引いてください(遅く設定推奨)。筆圧を調整するには、ペン先の筆圧感度のスライドを柔らかくまたは硬くの方に引いてください(硬く設定推奨)。

「タブレットコントロールパネル(タブレット)」により、設定を自由に変えることができます。アクティブエリアやペンの設定などが行えます。



コントロールパネルの「タブレット (ACECAD Tablet)」アイコンをダブルクリックしてください。「タブレットのプロパティ」が表示されます。

このプロパティで4つのカテゴリ(「ボタン」・「感度」・「筆圧」・「ポインタ」)の詳細設定を行います。

### ボタンの機能設定

「ボタン」タブで、スタイラスペンのボタンの機能を設定することができます。「ボタンの種類」と「動作」のリストボックスから、任意の機能を選んで設定してください。



### メモ

- 工場出荷時の設定に戻すときは、「初期値に戻す」ボタンをクリックしてください。
- ドロップダウンリストを表示させると、現在の設定値が反転表示されています。本製品の場合は「3ボタン配置」が選択されていることをご確認ください。

### ペン先の感度設定

「感度」タブでは、ペン先のダブルクリック認識感度を調節することができます。ダブルクリックの「スピード」と「間隔」で、それぞれダブルクリックと認識する(一回目と二回目のクリックの)時間と範囲を設定します。ダブルクリックに慣れないうちは、スピードを遅く、間隔を大きく設定するとよいでしょう。



### メモ

- ダブルクリックの間隔が大きすぎると、絵を描くときに誤認される可能性があります。胴体部のボタンに(シングルクリックで)ダブルクリック機能を設定することができますので、そちらを使ってください。
- 工場出荷時の設定に戻すときは、「初期値に戻す」ボタンをクリックしてください。



#### ペン先の筆圧設定

「筆圧」タブで、ペン先の筆圧を設定することができます。「筆圧感度」スライダーを「硬く」から「柔らかく」へ動かして、お好みの筆圧を選択してください。

#### メモ

・あまりにも柔らかく設定すると、ペン先が敏感になり過ぎて扱いにくい場合があります。その際は、スライダーを「硬く」の方向に動かして調節してください。

「クリック感度」スライダーを「軽く」から「重く」に動かして、線幅や透明度などに対する感度を設定することができます。「軽く」にすると、少しの筆圧で太い線や濃い色を描くことができます。



筆圧テストエリアで、筆圧を確かめられます。

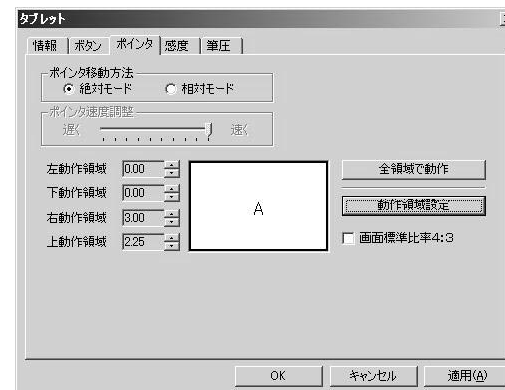
#### メモ

- ・「クリック感度」を「軽く」側にすればするほど少しの筆圧で描画できますが、反応が敏感になり過ぎて扱いにくい場合があります。その際は、スライダーを「重く」の方向に動かし、調節してください。
- ・工場出荷時の設定に戻すときは、「初期値に戻す」ボタンをクリックしてください。

#### ポインタ移動方法...絶対モードと相対モード

絶対モードでは、画面とタブレットの位置関係が完全一致します。動作領域は変更可能で、絶対モード時に動作領域を縮小すると、マウスポインタの動きを素早くすることができます。

相対モードでは、タブレットを通常のマウスのように使用することができます。ポインタ速度を変更する場合は、「ポインタ速度調整」を調節してください。

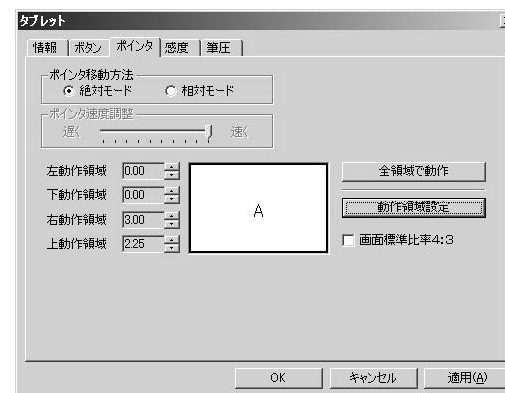


#### 動作領域

タブレット上でスタイラスペンを動かしたときに、反応する範囲のことを指します。初期設定では、動作領域は3"×2.25"です。絶対モードでは、この範囲とウィンドウとの位置関係が完全一致します。

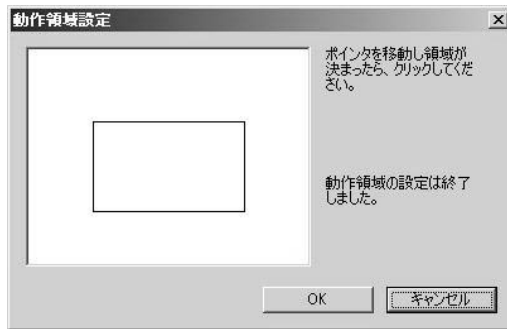
動作領域を小さくすると、マウスポインタの動きが機敏になり、作業時間を短縮することができます。この場合、ペンは新しい動作領域内で反応します。新しい動作領域を指定するには、

1. 「ポインタ」を選択します。

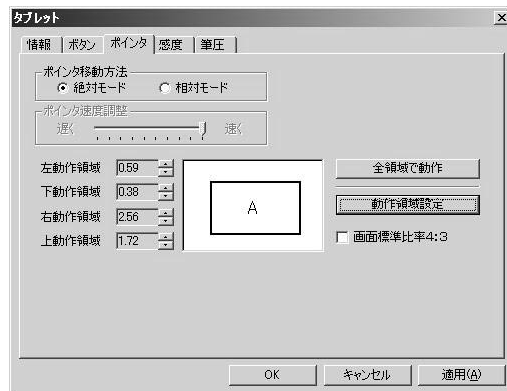


## ドライバソフトのアンインストール (Windows)

2. 「動作領域設定」ボタンをクリックすると、動作領域設定のダイアログボックスが表示されます。任意の二点（領域の対角に位置する二点）をクリックし、OK を押すと設定完了です。



または、「ポインタ」タブ内にある上下左右の動作領域の数値入力欄に任意の数値を入れてもかまいません。



3. 動作領域の縦横比を保ちたい場合は、「画面標準比率4:3にする」にチェックを入れます。

### メモ

- ・動作領域を元のサイズ (3" x 2.25") に戻す場合は、「全領域で動作」ボタンをクリックしてください。

1. 「スタート」メニュー 「設定」 「コントロールパネル」 「アプリケーションの追加と削除」 (WindowsXPでは「プログラムの追加と削除」) をダブルクリックして開いてください。
2. プログラムの中から「Tablet Driver」を選択してください。
3. 「変更と削除」 (または「変更/削除」または「追加と削除」) ボタンをクリックしてください。(下図参照)
4. アンインストール(削除)が始まります。後は画面の指示に従ってください。(アンインストール後、再起動することになりますが、その前にタブレットのUSBコネクタをパソコンから取り外してください。)



### Windows2000の場合



### WindowsMe/98の場合



注意：一度アンインストールした後、もう一度インストールする場合インストールの手順はほぼ同じですが、WindowsXPやWindows2000では「Windowsロゴテスト」や「デジタル署名」の画面は表示されません。また、再インストール後には一度再起動する必要があります。

## タブレットの設定(Mac OS)

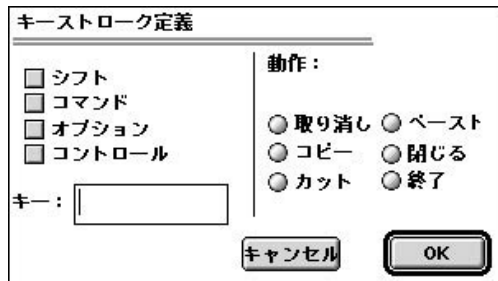
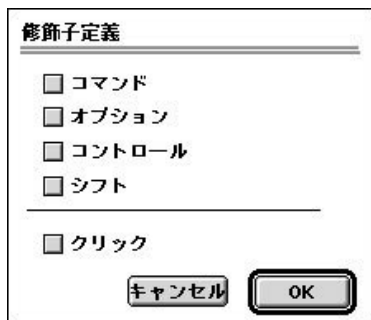
### ボタン

スタイラスペンの各ボタンに、クリック・ダブルクリック・消しゴム・無効・修飾子定義（command/option/shift/controlキーをシミュレート）・キーストローク（任意のキーを組み合わせる状態をシミュレート）の各機能を割り付けることができます。

Tabletコントロールパネルの機能ポップアップメニューから「ボタン設定」を選ぶと、ボタンの設定ダイアログボックスが表示されます。

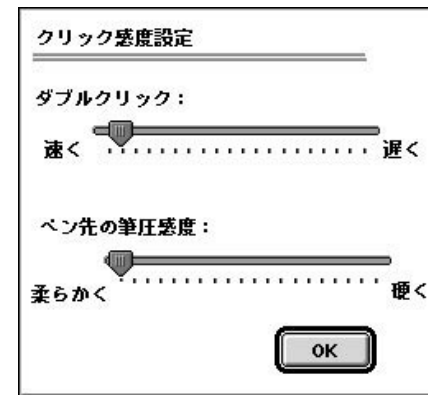


各ポップアップメニューから「修飾子定義」またはキーストロークを選ぶと、キーを設定するためのダイアログボックスが表示されます。任意のキーを押して、設定してください。



### ペン先の筆圧感度設定

Tabletコントロールパネルの機能ポップアップメニューから「ペン先感度」を選ぶと、ペクリック感度設定ダイアログボックスが表示されます。



「ペン先の筆圧感度」スライダーで、ペン先がクリックされたかどうか判定する基準値を設定することができます。「硬く」から「柔らかく」へ動かして、好みの筆圧を選択してください。

### メモ

・あまりにも柔らかく設定すると、ペン先が敏感になり過ぎて扱いにくい場合があります。その際は、スライダーを「硬く」の方向に動かして、調節してください。

「ペン先の筆圧感度」スライダーを「柔らかく」から「硬く」に動かして、線幅や透明度などに対する感度を設定することができます。「柔らかく」にすると、少しの筆圧で太い線や濃い色を描くことができます。

### メモ

・「ペン先の筆圧感度」を「柔らかく」側にすればするほど少しの筆圧で描画できますが、反応が敏感になり過ぎて扱いにくい場合があります。その際は、スライダーを「硬く」の方向に動かして調節してください。

## 動作領域

タブレット上でスタイラスペンを動かしたときに、反応する範囲のことを指します。初期設定では、タブレットの透明シート部分全体(5"×3.75")です。絶対モードでは、この範囲とウィンドウとの位置関係が完全一致します。

動作領域を小さくすると、マウスポインタの動きが機敏になり、作業時間を短縮することができます。この場合、ペンは新しい動作領域内で反応します。新しい動作領域を指定するには、

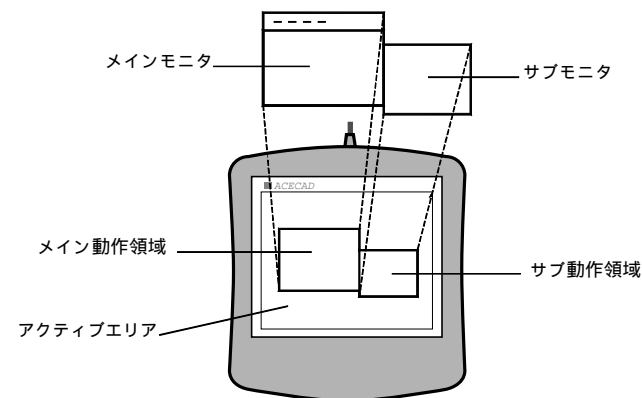
1. Tabletコントロールパネルの機能ポップアップメニューから「動作領域の設定」を選べると、動作領域の設定ダイアログボックスが表示されます。
2. 「画面全体」チェックボックスをオフにします。
3. グレー部分で動作領域を設定します。まず最初に、希望するエリアの右下に該当する部分をクリックし、次に左上に該当する部分をクリックしてください。この二点を対角線とする四角形が動作領域として設定されます。または、各欄に座標値を入力することも設定可能です。



4. 動作領域の縦横比を保持したい場合は、「画面縦横比を保持」にチェックを入れます。
5. 「適用」ボタンをクリックすると、新しい設定を試すことができます。元に戻したい場合は「元に戻す」ボタンをクリックしてください。

## メモ

- ・マルチモニター環境でご使用の場合、メインモニター(メニューバーが表示されているモニター)に対してメイン動作領域が設定されます。サブモニター用にサブ動作領域が自動設定されます。
- ・メイン・サブ動作領域の位置関係は、Mac OSの「モニター」コントロールパネルで設定された位置関係と同一です。動作領域の形状も、メイン・サブともに同じです。
- ・メイン動作領域がサブ動作領域の範囲よりも大きい場合、サブ動作領域の一部分だけがアクティブになり、同じくサブモニターの一部分だけに対して有効になってしまいます。このような場合は、サブ動作領域全体が有効になるよう、再設定してください。



## ドライバソフトのアンインストール (Mac OS)

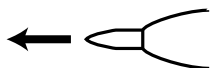
1. 本製品に付属のCD-ROMを入れ、CD-ROMアイコンを開いてください。
2. Installerと書かれたアイコンをダブルクリックすると、インストーラ(兼アンインストーラ)が起動します。Enterキーを押して続行してください。
3. ポップアップメニューからカスタム削除を選択します。削除ボタンをクリック、もしくはEnterキーを押すと、ドライバがアンインストールされます。アンインストールが完了すると、再起動を促すダイアログが表示されますので、再起動してください。なお、再起動後はドライバが読み込まれていないため、本製品は通常のマウスと同様の動作をします。

## ペンのメンテナンス

ペン先が押された状態で放置すると、バッテリーが消耗し続けてしまいます。ペンを保管するときは、横向きに寝かせておいてください。

ペンの電源が入らない場合は、乾電池が切れている可能性がありますので交換してください(1.5V、AAAAタイプ乾電池)。

長期間使用していると、ペン先が摩耗する可能性があります。ペン先の交換は、ピンセットなどを用い、ゆっくりとおこなってください。



## ペンとタブレットのお手入れ

- ・フロッピーディスクなど磁気を帯びたものをタブレット表面に置かないでください。
- ・熱いものや重いものをタブレット表面に置かないでください。
- ・柔らかい布に水や中性洗剤を含ませて拭き、清潔に保ってください。
- ・本製品を落とすなど、強い衝撃を与えることのないようにしてください。
- ・タブレットの表面でカッターなど刃物をご使用にならないでください。
- ・本製品を水など液体の中に浸さないでください。
- ・本製品を高温または多湿の場所で操作もしくは保管しないでください。
- ・ペンとタブレットを別々に保管して、紛失することのないようにしてください。

## トラブルシューティング

### 総合的なトラブル

Q. コンピュータの電源はオンなのに、タブレットのLEDが点灯しない。

- A. 本製品とコンピュータがUSBコネクタでしっかり接続されているか確認してください。コンピュータがUSB機器を使用可能な状態であるか確認してください。

Q. ドライバをインストールしているのに、タブレットを使ってもマウスカーソルが動かない。

- A. タブレットのLEDが点灯し、使用可能な状態かどうか確認してください。本製品とコンピュータがUSBコネクタでしっかり接続されているか確認してください。コンピュータがUSB機器を使用可能な状態であるか確認してください。ドライバが正しくインストールされたかどうか確認してください。スタイラスペンに乾電池が入っていることを確認してください。また、その乾電池が使用可能かどうか確認してください。スタイラスペンの電源をオンにしてください。ペン先でどこかをクリックすると、電源がオンになります。

Q. タブレットの動作領域上で使っているのに、タブレットのLEDが緑にならず(赤のまま)使えない。

- A. スタイラスペンに乾電池が入っていることを確認してください。また、その乾電池が使用可能かどうか確認してください。

Q. スタイラスペンの電源を入れたいだけなのに、電源が入ると同時にオブジェクトが選択されるなど別の動作が発生する。

- A. 動作領域内であれば、素早くクリックしてください。もしくは、動作領域外であればそういう問題は起こりません。

Q. ペン操作をしていないのに、オブジェクトが選択されたり線が描かれてしまったりする。

A. ペンの感度調節をしてください。

Q. マウスカーソルが、スタイラスペンの操作に追従したりしなかったりする。

A. 動作領域が小さすぎるのかもしれませんが。設定し直してみてください。

Q. クリックやダブルクリックの動作がしにくい。

A. コントロールパネルのマウスの設定で、ダブルクリックのスピードを速くし過ぎていないか確認してください。

本製品のドライバ設定で、筆圧感度を柔らかくしてください。さらに、感度の設定でダブルクリックのスピードと間隔を調節してみてください。スピードを遅くすればするほど、間隔を大きくすればするほど、ダブルクリックが楽になります。

Q. スタイラスペンにかなり力を入れないと、動作しない。描けない。

A. 本製品のドライバ設定で、筆圧感度を柔らかくしてください。さらに、クリック感度の設定を重くしてみてください。

Q. スタイラスペンの反応が敏感すぎる。または、鈍感すぎる。

A. 絶対モードで使用している場合は、動作領域の大きさを設定し直してみてください。  
相対モードで使用している場合は、本製品のドライバ設定で感度設定をし直してみてください。

Q. スタイラスペンのボタンが動作しない。

A. 本製品のドライバ設定のボタントップにあるリストボックスで「3ボタン配置」が選択されていることを確認してください。

Q. スタイラスペンのボタン動作がおかしい。

A. コントロールパネルのマウスの設定が、右利き用になっているかどうか確認してください。  
本製品のドライバ設定で、ボタンの設定が正しくされていることを確認してください。

Q. 描き始めの位置がずれる。

A. ダブルクリックを認識させる間隔が広すぎるのかもしれませんが。間隔を小さくしてみてください。

Q. 画面に書いたものの縦横比がおかしい。

A. 本製品のドライバ設定で、「画面標準比率4：3にする」のチェックボックスにチェックしてください。

Q. マウスのような動作をしてしまう。

A. 本製品のドライバをインストールしてください。

Q. ペン操作をしていないのに、オブジェクトが選択されたり線が描かれてしまったりする。

A. ペン先の筆圧感度を設定し直してみてください。

Q. マウスカーソルが、スタイラスペンの操作に追従したりしなかったりする。

A. 動作領域が小さすぎるのかもしれませんが。設定し直してみてください。

Q. クリックやダブルクリックの動作がしにくい。

A. コントロールパネルのマウスの設定で、ダブルクリックの認識速度を速くし過ぎていないか確認してください。

本製品のドライバ設定で、ペン先の筆圧感度を柔らかくしてください。

Q. スタイラスペンにかなり力を入れないと、動作しない。描けない。

A. 本製品のドライバ設定で、「クリック感度設定」の「ペン先の筆圧感度」をを柔らかくしてください。

Q. スタイラスペンの反応が敏感すぎる。または、鈍感すぎる。

A. 動作領域の大きさを設定し直してみてください。

Q. スタイラスペンのボタン動作がおかしい。

A. 本製品のドライバ設定で、ボタンの設定が正しくされていることを確認してください。

Q. 画面に書いたものの縦横比がおかしい。

A. ダブルクリックのスピードが遅すぎるのかもしれませんが。スピードを速くしてみてください。

Q. 画面に書いたものの縦横比がおかしい。

A. 本製品のドライバ設定で、画面縦横比を保持チェックボックスにチェックしてください。